

(社) 日本建築学会 近畿支部
2013 年度第 3 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2013 年 10 月 17 日 (木) 18:00-20:20

場所：キャンパスポート大阪 ルーム G

出席者：安福、阿部、井上、甲谷、河野、古賀、檜崎、山中 (主査)、桃井 (幹事)、萬羽 (幹事, 記録)

資料：・議事次第	資料 3-1
・2013 年度第 1 回空気環境部会議事録 (萬羽幹事)	資料 3-2
・2013 年度第 2 回空気環境部会議事録 (萬羽幹事)	資料 3-3
・平成 26 年度空気環境部会予算請求書 (案) (桃井幹事)	資料 3-4
・ISO Annex F (藤田委員)	資料 3-5
・空気調和・衛生工学会雑誌 CO ₂ 濃度 1000ppm 見直しに関する記事 (山中主査)	資料 3-6

議事：

1. 前回部会の報告

- ・萬羽幹事より、前々回および前回部会 (2013 年度第 1 回および第 2 回) の内容が報告された。

[資料 3-2・3-3]

2. 次年度部会費・支部研究補助費申請について

- ・次年度 (平成 26 年度) の部会活動計画として、研究テーマについて議論がされた。キーワードとして、LEED、CASBEE、品確法、住宅における第 2 種換気、家具、アスベスト、ホルム、VOC、PM2.5、除湿、ダンプネス、開放型燃焼器具などが挙げられた。
- ・次年度の研究テーマは、以下のとおり提案された。
 1. 国内外各種法令・基準における換気・空気質基準の調査 (継続)
 2. 関西の住宅における空気質・換気問題についての調査 [資料 3-4]
- ・山中主査より、次年度以降の部会の運営体制に関して、主査の交代が提案された。

3. 空気環境シンポジウムについて

- ・山中主査より、メーリングリストでの日程調整の結果を踏まえ、シンポジウムを以下の通り開催することが提案された。

第 5 回空気環境シンポジウム 2014 年 3 月 28 日 (金) 13:30-17:00
- ・シンポジウムの内容に関して議論され、以下のとおり提案された。

第 1 部…国内外各種法令・基準に関する報告 (担当者)

 - 1-1. ASHRAE (檜崎委員)
 - 1-2. ISO (安福委員*1)
 - 1-3. 国内の法令・基準 (河野委員*2)

第 2 部…各論、事例等報告 (担当者)

 - 2-1. 開放型燃焼器具の使用に伴う問題 (中川氏：ダイワハウス*3)
 - 2-2. CO₂1000ppm、臭気 (体臭) の問題 (山中主査)
 - 2-3. ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、VOC の問題 (萬羽幹事)

*1 ISO16814 について、各担当者は、和訳資料を桃井幹事に提出する。 (担当者)

(〆切 2013年12月18日(水))

- | | |
|---|------------|
| 1. Introduction + p.1(1)-p.5(3.46) | (甲谷委員) |
| 2. p.6(4)-p.9(6) (p.10 の Fig1 含む) | (山中委員) |
| 3. p.9(7)-p.13(7.2.2.12) + p.31-p.32(Annex C) | (河野委員) |
| 4. p.13(7.3)-p.16(7.3.5) | (東 (実) 委員) |
| 5. p.17-p.21(Annex A) | (桃井幹事) |
| 6. p.22-p.30(Annex B) | (小林委員) |
| 7. p.33-p.38(Annex D) | (安福委員) |
| 8. p.39-p.45(Annex E) | (萬羽幹事) |
| 9. p.46-p.47(Annex F) + p.48-p.51(Annex G) | (藤田委員) |

⇒安福委員は、各担当者からの報告内容を取りまとめてシンポジウムで報告する。

*2 国内法令・基準については、前回部会までに報告済みの部分を中心に、以下に示す法令・基準を対象とする。 (担当者)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 建築基準法 | (担当なし) |
| 2. 建築物における衛生的環境の確保に関する法律 | (担当なし) |
| 3. 学校保健安全法 | (萬羽幹事・報告済) |
| 4. SHASE-S 102-2011 | (山中主査・報告済) |
| 5. AIJ STANDARD ホルムアルデヒド・臭気 | (山中主査・資料配布済) |
| 6. AIJ STANDARD アセトアルデヒド・臭気 | (東 (実) 委員・資料配布済) |
| 7. AIJ STANDARD 微生物・VOC | (桃井幹事・資料配布済) |

⇒河野委員は、各担当者からの報告内容を取りまとめてシンポジウムで報告する。

*3 ダイワハウス中川氏への依頼は、檜崎委員より行っていただく。

4. 国内外各種法令・基準における換気・空気質基準の調査報告

○ ISO16814

- ・ 時間の都合上、藤田委員からの Annex F および、前回部会にて資料が配布された桃井幹事からの Annex A、萬羽からの Annex E についての報告は次回部会にて行われることとなった。
[資料 3-5]
- ・ その他の章についても、「3. 空気環境シンポジウムについて *1」に示すとおり、担当者は〆切 (12月18日(水)) までに和訳資料を提出し、次回部会にてシンポジウムに向けて ISO についての議論を進めることとなった。

5. 委員からの話題提供

○ 空気調和・衛生工学会雑誌 CO₂濃度 1000ppm 見直しに関する記事

- ・ 山中主査より、空気調和・衛生工学会雑誌 CO₂濃度 1000ppm 見直しに関する記事について紹介された。
[資料 3-6]
- ・ 室内の二酸化炭素濃度によって作業効率に違いがみられたとして、記事の中で引用されている U. Satish (2012) らの研究内容 については、次回以降、山中主査より紹介されることとなった。

6. その他

- ・ 次回部会

日時：2013年12月20日（金）15:30－18:30

場所：大阪市立大学 梅田サテライト講義室

部会内容：国内外各種法令・基準における換気・空気質基準の調査報告（ISOを中心に）、
第5回空気環境シンポジウムについて

以上